

月刊 アカンス ニュース

第37号 1999(平成11年).7

8月号は夏休みのため休刊します。

「アカンス」とは、古代ギリシャ・ローマに由来し、金沢大学の校章にも使われている植物の名称(和名「ハアザミ」)です。

新学長決定

トップニュース Top News



当選後の記者会見で抱負を語る林工学部長
= 7月9日, 事務局第4会議室で

岡田晃学長の任期満了(9月21日)に伴う学長候補者選挙が6月1日の公示を受け、7月7日・8日・9日の3日間にわたって行われ、林勇二郎教授(工学部長)が新学長に当選した。

任期は、本年9月22日から4年間。



第3回投票の風景
= 同左

新学長の略歴

昭和17年1月17日生まれ、東京工業大学大学院理工学研究科修了。昭和45年に本学工学部講師に採用され、その後助教授、教授を経て平成9年4月から工学部長を務める。専門は、機械工学、熱工学。

学長候補者選挙行われる

今回の選挙では、推薦委員会委員から推薦された候補者が15名。7月7日に第1回投票が、翌8日には第2回投票が行われ即日開票されたが、いずれにおいても過半数を超える得票者がなく、同9日の決選投票に持ち込まれた。その結果、林工学部長が過半数を獲得し、同日に開催された評議会で次期学長として決定されたものである。

開票結果 (選挙資格者総数751名)

第1回投票 (投票率:83.6%)

投票総数 628
うち有効投票数 625

各候補者の得票数

江見 準	42	中島 史雄	6
大瀧 敏夫	13	中西 功夫	121
岡本 宏	147	花岡美代次	21
金子 劭榮	11	林 勇二郎	92
鴨野 幸雄	16	樋渡 保秋	7
北原 晴夫	25	藤田 暁男	31
小牧 純爾	18	和田敬四郎	58
土屋 純一	17		

無効票 1
白票 2

第2回投票 (投票率:83.9%)

投票総数 630
うち有効投票数 628

各候補者の得票数

江見 準	30
岡本 宏	166
中西 功夫	149
林 勇二郎	230
和田敬四郎	53

無効票 0
白票 2

第3回投票 (投票率:81.1%)

投票総数 609
うち有効投票数 593

各候補者の得票数

岡本 宏	255
林 勇二郎	338

無効票 2
白票 14

(候補者は五十音順に記載、敬称略)





巻頭言

『金沢大学50年史』
部局編発刊に当たって



橋本 哲哉

(附属図書館長・学長補佐)

金沢大学50年史編纂の事業に携わって、ちょうど3年の時間が経過した。その節目の時に部局編を完成させることができ、今一息ついているところである。とくに各部局の編集委員、執筆者の方々には大変ご尽力いただき、この場を借りて改めて御礼申し述べる。

この事業を進めるに当たって、金沢大学がこれまで本格的な大学史をまとめてこなかったことも意識して、いくつか編纂の「考え方」を全学に提起した。それは多岐にわたるが、ここでは次の二点を取り出しておきたい。まず第一は「金沢大学は前史の伝統を受け継ぎ、この間大学院を中心とした研究教育の高度化、文系学部の改組拡充、総合移転、教養部改組等の大きな課題に取り組み、発展かつ変貌して北陸の基幹総合大学を目指してきた。そうした大学全体の歴史を客観的に通史的に

捉え、また多面的に考察して読みごたえのある大学史とする」という課題を設定したことである。

もう一点は「大学史ではあるが、地域に開かれた大学として、その自己点検・評価も行うという視点で編纂する」という事項で、私が最も重視したのものである。大学史を編纂するに際して、単にその歴史を回顧するにとどまらず、あくまでも現段階の大学と学部を自己主張する観点を忘れてはならない、と考えたからである。

もちろん、こうした課題の達成度は次の通史編(これも部局編同様1,200頁程度で、1年後には完成させたいと目下作業中)の刊行を待って、両編あわせて評価していただければ幸いである。

学外有識者との懇談会
総合移転について意見交換

6月22日、事務局大会議室で、県内外の経済・産業団体関係者、学識経験者を招き、「学外有識者との懇談会」(通算7回目)が開催された。

今回は、「総合移転第 期計画事業に期待するもの」をテーマとして、澁谷弘利澁谷工業株式会社取締役社長、大島寛文部省文教施設部整備計画室長ら10名が出席して、21世紀に向けた大学のあるべき姿について活発な議論が展開された。



総合移転第 期計画事業について説明を聞く懇談会出席者
= 6月22日、事務局大会議室で



大学側の説明に耳を傾ける学外有識者の方々
= 同上



新名誉教授11名に称号授与

6月21日，事務局大会議室で，名誉教授の称号記授与式が執り行われた。

今回新たに名誉教授の称号を授与されたのは，平成10年度に停年により退職された教授のうち，各部局から推薦のあった11名の方々に，5月21日開催の評議会で決定されたものである。

式では，一人ひとりに称号記が手渡された。



岡田晃学長から称号記を授与される新名誉教授の方々
= 6月21日，事務局大会議室で

名誉教授称号記授与者

柏木 英彦氏(文学部)	高島 力氏(医学部)
山下成太郎氏(教育学部)	高守 正治氏(医学部)
上野 英雄氏(法学部)	松田 保氏(医学部)
中村 志郎氏(法学部)	五味 保男氏(薬学部)
深谷 松男氏(法学部)	市村 藤雄氏(医学部附属病院)
河田 脩二氏(理学部)	

(最終在籍部局順)

教職員・学生を対象に「角間第一期キャンパスを語る会」



多くが詰めかけた会場では，総合移転の概要や他大学等の施設が紹介された
= 6月1日，工学部秀峯会館で

総合移転実施特別委員会(委員長:辻彰薬学部教授)は，6月1日，工学部秀峯会館で「角間第一期キャンパスを語る会」を開いた。

この会は，総合移転の全体像や総合大学のあるべき姿について，学内の意見を広く聴くことを目的として行われたもので，移転対象部局を中心に約130人の教職員や学生が参加した。



いろいろな質問が飛び交った同会の模様
= 同上



初の「自己啓発講演会」を開催

6月8日、事務局大会議室で、職員に幅広い知識と広範な行政的視野を修得してもらおうと初めて「自己啓発講演会」が開かれた。

今回は、地元の住宅関連会社など13社から構成される“アイ・企業合衆国”の林教会長が講師を務め、集まった約60人の職員に、「ひらめきと提案」をテーマとして講演した。

今後も職員の自己啓発を促すために、バイタリティあふれる講師を招いて、同様の講演会を年2、3回開催する予定。



身振り手振りを交えて講演する林会長
= 6月8日、事務局大会議室で



多くの職員が受講した講演会の様子
= 同上

50 健康とまちづくりをテーマに地域交流推進シンポジウム第二弾

地域交流推進シンポジウム第二弾の「金沢大学・白山麓地区交流シンポジウム」が、6月13日河内村で行われた。集まった地区住民ら約120人は、講演やパネルディスカッションを通して健康とまちづくりをテーマに意見を交した。



パネリスト(右から)井上英夫教授(法学部)、森秀子日本体育協会公認スポーツ指導員、浦田哲郎うらた医院院長(河内村福岡)、浅野秀重助教授(大学教育開放センター)
= 6月13日、河内村めおと岩温泉ウッディホール(河内村江津)

蔵書5万冊の寄贈から半世紀 第50回金沢大学暁烏記念式を行う

暁烏記念式は、松任市出身で、明治・大正・昭和の思想界・宗教界に大きな影響を与えた暁烏敏師が、蔵書約5万冊を本学に寄贈した



司会進行の橋本哲哉附属図書館長(写真左)
= 6月18日、大学教育開放センターで

ことを記念して、昭和25年から毎年行われているもので、6月18日、50回の節目の記念式を迎えた。今回は特別企画として、小峯和明教授(立教大学)らをパネリストに、シンポジウム「仏教文学と文献利用」が行われた。

「ジェンダー学」の最先端を語る

6月25日、教養教育機構研究調査部主催の平成11年度第2回講演会が、上野千鶴子教授(東京大学)を講師に迎えて、総合教育棟で開かれた。

当日会場は、一般市民、学生、教職員ら約200人が集まり、上野教授は、NHK収録のビデオなどを使って「ジェンダー(文法上の性別、歴史的に作られた男女差別)学の現在」について語った。また、講演後の質疑も予定の時間を超えるほど、熱心な質問が相次いだ。



約200人の参加者で熱気に包まれた会場
= 6月25日、総合教育棟で





6月の全国・ブロック会議

本学が当番で開催した全国又は地方ブロックの会議

平成11年度 北陸地区国立学校事務情報化推進協議会

日時：6月28日

場所：事務局第3会議室

出席者：文部省政策課情報処理室溝口情報企画係長，本学を含む北陸地区国立学校における事務情報化担当部門の課長等 11名

あいさつする丸山彰経理部長
6月28日
事務局第3会議室で



新規採用者、1カ月の長期研修に奮闘

従来、新規採用者は、職員としての心構えを1日の「オリエンテーション」で身に付けていたが、部局等から不十分であるとの声が高まり、今年度は新たに、大学職員として即戦力となる幅広い知識を役に立つ形で身につけさせようと、6月2日から7月9日までの約1カ月の長期研修が行われた。

この研修では、受講者は、毎日午後事務局に集まり、様々なプログラムをこなした。



ヘルメットをかぶって現場を視察する受講生
= 6月4日、角間キャンパス第一期用地で



病院の窓口業務を体験する受講生
= 6月22日、医学部附属病院中央採血室窓口で

「アントレプレナーセミナー-in金沢」で起業成功の条件を探る

起業化精神を啓発することを目的とした「アントレプレナーセミナー-in金沢」が、6月29日、工学部秀峯会館を会場に行われ、300人を超す学生らが起業成功への心構えや条件を学んだ。これは、本学と共同共同研究センター、石川県及び財団法人石川県産業創出支援機構が主催したもので、講演会・パネルディスカッションを通して、“成功のカギは人柄であること”、“失敗を恐れず行動すること”、“個性を磨くこと”などが強調された。本セミナーでは、日頃の講義で聞けない内容に、参加した学生は十分得るものがあつたようだ。次回の開催が期待される。



司会進行役の宇治川一清氏(右)インタープレフ・マネジメント代表取締役(写真右)と本学工学部OBであるパネリスト
= 6月29日、工学部秀峯会館で

本学へのお客さま(6月)



学長を囲んで。附属小学校の姉妹校であるアメリカ・バーウィック学園初等学校からの訪問団
= 6月22日、学長室で



佐々木雅幸教授(経済学部)に 栄えある市文化活動賞

本学経済学部の佐々木雅幸教授は、6月22日、平成11年度市文化活動賞に選ばれた。

同賞は、金沢の伝統文化の継承発展や新たな市民文化の創造活動を続ける個人・団体に贈られる。このたびの受賞は、同教授が金沢市や石川県の社会経済的な分析を進め、創造都市論を提起し、国内外の会議等で注目を集めるなど、市の都市政策の立案に関して積極的な貢献をしたことが認められたもの。



市文化活動賞を受賞した
佐々木教授

国際協力の架け橋に! JICAの特別セミナーを工学部等で実施

JICA(国際協力事業団)のコンクリート構造物耐久性向上技術特別セミナーが、6月1日・2日の両日、工学部土木建設工学科の鳥居和之教授を講師に本学工学部で行われた。東南アジア・中近東・アフリカ等から選ばれた政府関係機関や大学などに勤務する土木技術者9名は、コンクリート構造物の最新の補修・補強技術等について様々な

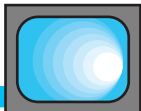


鳥居教授を囲んで
=6月1日、工学部土木建設工
学科A棟玄関前で

角度から講義・研修を受け、熱心に学んでいた。



熱心に受講する研修員
=同上、同土木ゼミナール室で



KUPIS (キューピース) 情報

金沢大学ホームページ

本学「公式ホームページ」の面白い情報を紹介するコーナーです。

クリック順

トップページ

金沢大学
総合案内

キャンパス写真集

本学の様子を写真で紹介するコーナーで、学外の方には、キャンパスに訪れた感覚でご覧いただけるページになっている。

本学の校章にも使われている“アカンサスの花”から各キャンパスの様々な一面、さらには航空写真まで、アルバムを開く感覚でふとした時に覗いて見てください。見て楽しむことはもちろん、ダウンロードしているいろいろなことに活用できる写真がたくさんあります。

アドレスは <http://kanazawa-u.ac.jp>

その8 キャンパス写真集



キャンパス写真集のトップページ





本学で研究中の 日本学術振興会特別研究員が活躍

理学部所属・辻森 ^{たつき} 樹さん 日本地質学会研究奨励賞を受賞

6月26日、日本学術振興会特別研究員・辻森樹さん(指導教官：理学部石渡明助教授)に平成10年度日本地質学会研究奨励賞が授与された。

辻森さんは、岡山県大佐山周辺に分布する3億2千万年前の岩石と地質構造について研究しており、今回の受賞は、辻森さんが本学大学院生だった昨年4月に発表した論文が高く評価されたもの。なお、在学中に同学会から賞が授与されたのは、本学では初めてのこと。



日本地質学会研究奨励賞を授与された辻森さん

理学部所属・森下知晃さん 日本初、世界でも3例目の大発見

日本学術振興会特別研究員・森下知晃さん(指導教官：理学部荒井章司教授)によって、北海道日高山地に点在している地球深部に起源を持つ造山帯カンラン岩体から、直径3cmに達するルビーを含む岩石が発見された。この岩石は、地表の物質が、地球内部へリサイクリングするという“地球内部物質循環”の物証となる可能性があり、今後の研究が期待される。また、このほど、この発見をまとめた論文が、日本岩石鉱物鉱床学会の研究奨励賞に選ばれた。



このたび発見されたルビーを含む岩石(写真右)と発見者の森下さん

「金沢大学概要」完成

このたび、本学最新のデータ等を盛り込んだ平成11年度版の「金沢大学概要」が出来上がり、学内外に配布された。

なお同概要は、「KUPIS」(本学の公式ホームページ)の「金沢大学総合案内」にも掲載されているので、ご活用ください。



このほど完成した「金沢大学概要(平成11年度)」

編集後記

新学長が決まった。6年ぶりの金沢大学の顔の交代です。21世紀に向け今大学は、昨年10月の大学審議会答申や中央省庁等改革基本法等を踏まえた大学改革の推進、その中での独立行政法人化問題など難題が目白押しですが、新学長のもと、新たな船出に踏み出さなければなりません。

このような状況の中で、今月号の記事にもありますように、今年から1か月の長期研修に衣替えした初任者研

修を受けられた諸君にかかる期待は大きなものがあります。これからのさらなる健闘を願います。

6月は、「学外有識者との懇談会」や各種の「講演会」などが開催され、大勢の教職員が参加したようです。

また、金沢市主催の百万石まつりに本学として初めて参加するなど、何かしらキャンパスの各所で活気が感じられる気がします。この雰囲気の中で暑い夏を乗り切りましょう。(上梨)



百万石まつりに初参加!



6月14日、本学は、金沢ではおなじみの百万石まつり“パレードの部”に創立50周年を記念して初参加し、約34万人の市民・県民が見物する中、公開講座、共同研究の募集を中心に、地域連携を重視している旨を存分にアピールした。



旧城内キャンパス附近で現在の大学をアピール



卒業生の金沢市長も思わずバンザイ!



観客の声援に手を振ってこたえる参加者



出発前に全員集合

いい笑顔



平成11年7月23日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019
FAX 076-234-4010

本紙の内容、その他本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ 愛称“KUPIS”(キューピース)」
(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。
本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。

